

2014年 第35号

発行 橋本 和子



すずらんジャーナル

船橋市議会議員 はしもと 和子

市民相談はお気軽に 公明党控室 436-3032

希望の未来へ!あなたと市政のかけ橋に

***次世代を担う子ども達の為に教育環境の充実**

***女性が主役として暮らしていける社会の構築**

***安全安心の街づくりと生活環境の取り組み**

***少子・高齢化社会における支援の取り組み**

「笑顔で・誠実・迅速に」をモットーに、
「笑顔の庶民派NO. 1」を目指し、
「現場を歩き」「対話に動く」皆様との
ひざ詰めの対話を行ってまいります。



平成25年第4回定例議会の報告をさせていただきます。



学校の雨水流出抑制と雨水利用について

はしもと

学校の校庭は、皆さんもご存知のように、雨水が溜まるようになっている学校が多くあります。学校の校庭の砂埃で困っている市民の方から相談を受け、いくつかの学校へ行き、校庭を見させていただきました。砂埃が立たないように、砂を岩瀬砂に変えたり、防砂林があったり、スプリンクラーやホースを使って、水やりをするなど、工夫はされていましたが、ご近所の方は、夏の暑い時期には、窓を開けておくわけにはいかなないなど、ご苦労されていることも否めません。また、訪問した学校では、今回の台風で、校庭が水浸しになり、いつまでたっても校庭がぬかっていて、災害時に避難されて来ても、校庭には入れないのではないか。と言っていた先生もいらっしゃいました。雨水貯留施設になっているため、やむ得ないことかもしれませんが、校庭が使用できなくなり、授業はもちろん部活



動にも影響があると思います。地上に貯めることより、地下に貯める方法ができないか伺います。

下水道部長

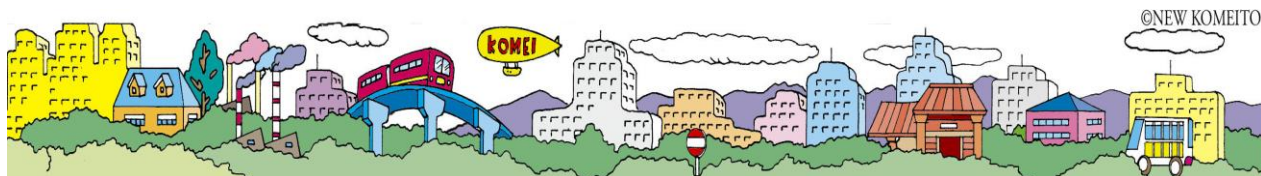
今年度より、印旛沼流域では、貯留浸透施設を地下に設置することを基本としたので、他の流域でも同様にグラウンドの地下に貯留するように設置を進める。

はしもと スプリンクラーの付いている学校では、プールの水をポンプで吸い上げ、利用していますが、スプリンクラーの付いていない学校では、水道からホースを使って、水撒きをしています。そこで提案ですが、雨水を利用して、校庭の水撒きや、植物への散水をしたらどうでしょうか。

管理部長 校舎の全面改築を行った西海神小では、屋上緑化への散水用として、タンクを設置。現在、全面改築を行っている船橋小では、地下に貯留槽を設置し、散水に利用する。



はしもと 下水道部では、「雨に強い街づくり」として、河川や下水道整備に加え、公共施設への、貯留施設や雨水浸透マスの設置、緑地の保全等の事業を積極的に行うとともに、市民の皆様にも雨水浸透マスや雨水貯留タンクなどの設置に補助金を出して、設置を呼び掛けています。行政および市民協働で雨に強いまちづくりを目指さなければならないと思いますが、学校をはじめ、公共施設でも積極的に、雨水対策や雨水利用をしてほしいものです。今後、貯留タンクを設置するなどし、雨水利用を積極的に進めていきたいと思っています。



保育行政について

はしもと 二世帯住宅について、ひとり親の保育料算定基準を見直すべきと思います。また、保育料を算定する、収入認定において、児童手当等を月毎に換算してほしいと思いますが、如何でしょうか。

子育て支援部長 今後、ひとり親世帯の捉え方について、議員ご指摘の内容もふまえ、検討する。

はしもと 同じ収入でありながら、認可保育園と認可外保育施設では保育料の支払う額が違います。待機児童が一向に減らない現状において、認可外保育施設の果たす役割は大きいと思います。認可外保育施設通園時補助金を増額するよう要望します。

この他に「町会・自治会館」「がん」について質問しました。

*詳しくは、<http://funabashi.gijiroku.com/>をご覧ください。

(議会の録画中継です。スマホから見るができます。)

はしもと 和子 090-5574-9079
ホームページ hashimoto-kazuko.jp
ご意見・ご感想をお寄せください。

